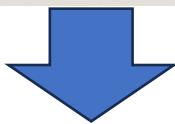


2025年6月9日20時頃の出来事



数分後、乗っ取られた画像が他の知人から送られてきて、事態の状況を知る

私のアカウント名

デジタル投資は元々趣味ではありませんでしたが、友人からデジタルマイニングに携わる [REDACTED] さんを紹介され、試してみることにしました。最初は20万円から始めたのですが、ウォレットに投資してから（6時間以内）、なんと200万円の利益が出て、銀行口座に無事出金できました。これは100%本物で合法です。ぜひ彼女にメッセージを送って、あなたも投資してみてください。この機会をお見逃しなく！

詐欺サイトに繋がるリンク

私のアカウント名

私の名前

¥2,000,778.74

24時間: + ¥2,000,778.74 --
全期間: + ¥0.001275 <0.01%>

概要 トランザクション 運用

保有資産 通算利益 資産構成

BTC 100%

BTC ¥2.00M

詐欺サイトに繋がるリンク

資産

BTC 0.1285 BTC 100%

令和7年第3回定例会 一般質問資料① 民主・市民ネット 野沢友志
出典：野沢Instagramストーリー画面から転載

再開発事業「わくわく感を」

函館「棒二森屋」跡地

JR函館駅前で営業していた百貨店「棒二森屋」跡地を囲う壁に3日、跡地の再開発事業を紹介するポスターがお出見えた。学生団体「I SARI BI with イサリビ ウィズ」の活動で、デザインも学生が考案した。「ポスターを見た人がわくわくする気持ちになればうれしい」と期待している。

ポスターはA1判で4枚作成。着物姿の女性や忍者の絵とともに「ボーナー」と、再開発事業の簡二さんとよばれたこの場所は、今はすやすやねむつております。でもそろ

ウィズの「生きる空きア

ロジェクト」(12人)。昨年4月に活動を始め、市内の古民家のシャッターに絵を描くなど地域の魅力創出に取り組んでいる。代表の北海道大学大学院博士後期課程3年名畠公晴さん(27)はプロジェクトの立ち上げ当初から棒二森屋跡地で何かしたいと考え、再開発組合に企画書を提出。ポスターデザインも自身が考案した。

3日は名畠さんと北海道教育大函館校2年三浦なず菜さん(19)が市内の看板製作会社の協力を得て4枚を丁寧に貼った。名畠さんは「棒二森屋の歴史はまだ続いていく。『新しくなる』という期待感の持てる情報を伝えたい」と話した。

棒二森屋は2019年に閉店。跡地を巡っては、再開発組合が29年5月の開業を目指し、ホテルや商業ビルなど4棟を新築する計画を進めている。

旧棒二森屋の再開発事業を紹介するポスターを貼る名畠さん(奥)と三浦さん

学生団体 ポスター考案しPR